



▼春闘勝利へ怒りの労働者総行動
▶2・14春闘学習決起集会

大阪春闘共闘委員会と大阪労連は、2018年国民春闘を大幅賃上げと雇用の安定、中小企業支援の拡充で景気回復という切実な職場要求の実現と共に、①安倍9条改憲発動をさせない、②安倍「働かせ方改革」、③「大阪都構想・住民投票」を許さず、共同の力で阻止・断念させるたたかいを職場、地域からすすめています。



職場 地域 から要求実現に全力を!



府下各地でさまざまな団体との懇談がすすみ、北河内ではすべての自治体と懇談が行われた。

大阪春闘共闘委員会と大阪労連は、1月23日に寒風をついて「1・23怒りの労働者総行動」を行い府下各地で「大企業は社会的責任を果たせ」「労働法制改悪反対」など街頭宣伝など様々な行動を繰り広げました。大阪市内の行動では、ターミナルでの早朝宣伝をはじめ、ハンドマイク隊や宣伝カーはオフィス街や商店街で、春闘勝利・安倍政権と維新の強権政治にストップを呼びかけました。デモ行進では、関西電力本社前での「原発再稼働反対!」の力強いシュプレヒコールとともに、にぎやかに「見える・聞こえる春闘」を沿道の人々にアピールしました。同時に行われた、経済団体や業界団体、民主団体との懇談

2度目の住民投票を許さない!

松井知事や吉村市長は税金のムダづかいをやめろ!



(写真上) 都構想許すなとデモ行進=2月7日、(写真下) 大阪市なくすなと宣伝=2月12日

税金の無駄使いの住民投票にNOの声を上げていこう。カジノ万博や大規模開発でなく、住民の暮らしを守る大阪市政を転換しよう」と街頭で訴えました。

では、すべての労働者の賃金底上げ・雇用の安定・中小企業支援で大阪経済を活性化させる私たちの運動に共感の声を寄せられています。また、大阪府知事・大阪市長に対して再び「大阪市住民投票」を行わないように求める要請を行いました。そして、2月に入り、賃金底上げに向けた最賃スタート学習会(2月2

2月7日は明るい会と大阪市をよくする会が「住民投票許すな2・7決起集会」を大阪市内で開催しました。中山徹奈

橋下徹前代表が「ラストチャンス」と公言し、32億の税金を投入した大阪市の解体する『都構想』は、2015年5月の住民投票で否決されました。しかし、維新の会は住民投票の結果を無視し、再び大阪市の解体する『都構想』を強引にすすめています。

2月12日、大阪労連は大阪府地区協の呼びかけに応え、大阪市内で宣伝行動を行いました。「税金の無駄使いの住民投票NO」-大阪府をなくす『都構想』反対-と書かれたプラスタを掲げ、「変えるべきは統治機構ではなく、政治の本身。税金の無駄使いの住民投票にNOの声を上げていこう。カジノ万博や大規模開発でなく、住民の暮らしを守る大阪市政を転換しよう」と街頭で訴えました。

日、労働法制改悪許すなと春闘学習決起集会(2月14日)を開催してきました。また、各産別組織では決起集会やスト批准投票などが取り組まれ、地域では、各地区協を中心に自治体や商工会など、さまざまな団体との懇談がすすんでいます。この春闘で、安倍暴走政権と維新強権政治のもとで、広がる格差と貧



組織拡大をめざし、自治労連は、2月24日~25日に2018春の組織・共済拡大交流集会を開催

賃金底上げで大阪経済の活性化

2月に行われた平昌五輪では、本当に素晴らしいプレーに感動の連続でした。我が家でも日本選手の手活躍に一喜一憂していました。しかし、選手たちはメダル等への重圧の中で本当に大変だったと思います。報道の中で、ジャンプ女子で銅メダルを獲得した高梨選手が「自身だけが目立つような写真撮影を拒否する」という記事が目にとまりました。高梨選手は「私だけのメダルじゃないし、みんなで獲ったメダルなので」と話し、チーム4人で肩を組むショットに変更されました。労働組合の活動も同じ、役員だけの頑張りでは成果が勝ち取れるものではありません。一人ひとりの組合員の団結の力があってこそ、要求が実現していくものです。力を合わせて頑張りましょう。(K)

天満でとどけ

国労大阪会館を
研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2